

## 町内会便り

### 町内諸団体意見交換会の開催

4月22日に町内会通常総会が開催され、議案等が承認されました。

又、2年に1度、今年で3回目の町内諸団体意見交換会が5月20日に開催され代表の方々を含め29人が集まりました。

町内にはたくさんの委員や会があること、その方々が町内のお世話を下さっていること、恥ずかしながら初めて知りました。

美味しい食事をいただきながら、一人ずつ一言、まじめに、また面白おかしくお話がまわり、とても和やかな雰囲気では進みました。中でも、町内の危機とも言えることが…

子供会加入の人数が12人しかおらず、過去最低人数だということ。これにはびっくりしました。でも、時代の変化も関係しているのか、今はスポーツのクラブチームもあるし、習い事をしている子も多い。母親も働いている方が多くなってきている。いくらかは、仕方がないことなのかもしれません。でも、それではお祭りが寂しくなるからと、子供会に入っていなくても、参加できるように考えていこうという話もありました。

また、白寿会（60才以上）の加入も少ないようです。加入推進しておられました。

良くなったことは、公園に一部ではあるが、防犯カメラを設置することで、トイレがキレイだったり、たむろしている子が少なくなったこと。また、不審者から児童を守ることに防犯カメラや見守り隊の方々が活躍してくれています。この先も防犯カメラは増やしていく予定だそうです。

このようにたくさんの方々で町内を盛り上げてくれています。ぜひとも、町内行事に興味を持っていただき、参加して下さいよう、よろしくお願いします。

7組 西口 泰子



## 雑記帳

### 岡山の桃太郎が「日本遺産」に認定



ファジアーノ岡山、(ファジアーノとはイタリア語でキジのこと。いうまでもなく桃太郎伝説に基づくネーミング)の活躍、桃太郎空港のネーミングなど、桃太郎を中心に売り出し中の岡山であるが、この度、「日本遺産」として、「『桃太郎伝説』の生まれたまちおかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～」が晴れて選ばれるという朗報があった。

さて、桃太郎という昔話は、川を流れていた桃から生まれた桃太郎が、犬、猿、キジに吉備団子を与え、家来にし、悪さをしていた鬼の退治に鬼が島に行き、鬼を見事成敗して鬼が村から奪い取った金、銀、財宝を取り返して帰ってきた。めでたし、めでたし、という話である。

岡山では、吉備津神社の御祭神、吉備津彦命が、犬飼部の犬飼健命(いぬかいたけるのみこと)、猿飼部の楽々森彦命(ささもりひこのみこと)、鳥飼部の留玉臣命(とめたまおみのみこと)を従えて温羅を退治したという伝説があり、この犬飼部=犬、猿飼部=猿、鳥飼部=鳥になったという説がよく知られている。

また、十二支説というのもある。十二支は時刻と方角を表すもので、北東は鬼門とされる丑寅の方向。鬼とは寅のパンツをはき、頭に牛のような角をはやした動物で、文字どおり鬼門位置する。対抗する裏鬼門にあたるのが申(さる)、酉(とり)、戌(いぬ)というわけで、この3匹を家来にしたという説も説得力がある。

しかし、桃太郎伝説は各地にあり、微妙に違っているが、今回の認定は岡山のものだと決定付けた。

とはいうものの、岡山と決めたからには、なぜと聞かれればそれなりにきちんと答えられることが求められる。せめて、我々としては、「桃の流れていた川はどこなのか」と問われれば、「笹ヶ瀬川です」との答えを定着させたい。(独り言)